アンケート画面開始

Page 1

※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

0 50 100(%)

本調査票におけるのれんは「正ののれん」を前提としています。
ご回答の中で「負ののれん」について考えていただく必要はありません。

SQ1 **回答制御** (SQ1_1 ≠ null かつ SQ1_2 ≠ null) または (SQ1_1 ≠ null かつ SQ1_3 ≠ null) または SQ1_1 ≠ null に該当しない場合はアラートを表示

- カテゴリ 1. 貴社名

必須設定 無回答可

入力文字数 100文字まで

- カテゴリ 2. 証券コード

必須設定 無回答可

入力文字数 4文字

回答制御 回答が半角数字 に該当しない場合はアラートを表示

- カテゴリ 3. ご所属(役職)

必須設定 無回答可

入力文字数 100文字まで

SQ1

貴社名,証券コード(上場会社のみ)を教えてください。

また,差し支えなければ,ご回答者様のご所属(役職)についてもご記入ください。

なお,ご回答いただいた貴社およびご回答者様の情報を外部に公表することはありません。

もし,これらの内容についてご回答を望まれない場合は,空欄のまま次へお進みください。

貴社名

証券コード

ご所属(役職)

次へ

0 50 100(%)

※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

0 50 100(%)

SQ2 必須設定 回答必須
回答者条件 SQ1_1 = null

SQ2

貴社の主要な事業が属する産業区分を以下の中からひとつだけお選びください。
(以下の産業区分は東証業種分類コードにもとづいています)

1	☐ 水産・農林業	18	☐ 精密機器
2	☐ 鉱業	19	☐ その他製品
3	☐ 建設業	20	☐ 電気・ガス業
4	☐ 食料品	21	☐ 陸運業
5	☐ 繊維製品	22	☐ 海運業
6	☐ パルプ・紙	23	☐ 空運業
7	☐ 化学	24	☐ 倉庫・輸送関連業
8	☐ 医薬品	25	☐ 情報・通信業
9	☐ 石油・石炭製品	26	☐ 卸売業
10	☐ ゴム製品	27	☐ 小売業
11	☐ ガラス・土石製品	28	☐ 銀行業
12	☐ 鉄鋼	29	☐ 証券・商品先物取引業
13	☐ 非鉄金属	30	☐ 保険業
14	☐ 金属製品	31	☐ その他金融業
15	☐ 機械	32	☐ 不動産業
16	☐ 電気機器	33	☐ サービス業
17	☐ 輸送用機器		

次へ

0 50 100(%)

※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

0 50 100(%)

SQ3

必須設定 回答必須

回答者条件 SQ1_1 = null

回答制御 排他カテゴリ「7. 非上場会社である」に該当しない場合はアラートを表示

SQ3

貴社は上場会社ですか,それとも非上場会社ですか。
また,貴社が上場会社である場合には上場している市場についても教えてください。
(複数回答可)

 上場会社である

- 1 東証1部
- 2 東証2部
- 3 東証その他(1部または2部以外)
- 4 名証
- 5 福証
- 6 札証

- 7 非上場会社である

次へ

0 50 100(%)

※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

0 50 100(%)

SQ4

必須設定 回答必須

回答者条件 SQ1_1 = null

SQ4

貴社の社歴(年数)について教えてください。
以下の選択肢の中から該当するものをひとつお選びください。

- 1 10年未満
- 2 10年以上30年未満
- 3 30年以上50年未満
- 4 50年以上70年未満
- 5 70年以上100年未満
- 6 100年以上

次へ

0 50 100(%)

※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

0 50 100(%)

表示条件 SQ1_1 = null

SQ5

以下の各項目について、直近の本決算(連結ベース)における金額を教えてください。

SQ5_1

必須設定 回答必須

回答者条件 SQ1_1 = null

SQ5_1 売上高

- 1 1,000億円未満
- 2 1,000億円以上2,000億円未満
- 3 2,000億円以上3,000億円未満
- 4 3,000億円以上4,000億円未満
- 5 4,000億円以上5,000億円未満
- 6 5,000億円以上

SQ5_2

必須設定 回答必須

回答者条件 SQ1_1 = null

SQ5_2 総資産

- 1 1,000億円未満
- 2 1,000億円以上2,000億円未満
- 3 2,000億円以上3,000億円未満
- 4 3,000億円以上4,000億円未満
- 5 4,000億円以上5,000億円未満
- 6 5,000億円以上

SQ5_3

必須設定 回答必須

回答者条件 SQ1_1 = null

SQ5_3
純資産

- 1 500億円未満
- 2 500億円以上1,000億円未満
- 3 1,000億円以上1,500億円未満
- 4 1,500億円以上2,000億円未満
- 5 2,000億円以上2,500億円未満
- 6 2,500億円以上

SQ5_4

必須設定 回答必須

回答者条件 SQ1_1 = null

SQ5_4
のれん

- 1 計上していない
- 2 10億円未満
- 3 10億円以上50億円未満
- 4 50億円以上100億円未満
- 5 100億円以上500億円未満
- 6 500億円以上

次へ

0

50

100(%)

※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

0 50 100(%)

SQ6

必須設定 回答必須

回答者条件 SQ1_1 = null

SQ6

直近3年間における貴社の合併・買収(M&A)の状況について教えてください。

- 1 自社にとって重要な合併・買収を少なくとも1件実施した
- 2 合併・買収を実施したものの、自社にとって重要性は低い
(複数実施した場合は、「いずれも」重要性は低い)
- 3 合併・買収は実施していない

次へ

0 50 100(%)

※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

0 50 100%

SQ7 必須設定 回答必須
回答者条件 SQ1_1 = null

SQ7

貴社が現在採用している会計基準について、以下の選択肢の中から該当するものをひとつお選びください。

(注意)貴社と貴社の子会社との間で採用している会計基準が異なる場合は、貴社が採用している会計基準についてご回答ください。

- 1 日本基準
- 2 米国基準(U.S. GAAP)
- 3 国際財務報告基準(IFRS)

次へ

0 50 100%

※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

0 50 100(%)

前問SQ7で「日本基準」または「米国基準(U.S. GAAP)」を選択された方にお尋ねいたします。

SQ8

必須設定 回答必須

回答者条件 SQ7 = 「1. 日本基準」, 「2. 米国基準(U.S. GAAP)」

SQ8

貴社の国際財務報告基準(IFRS)への移行予定について、以下の選択肢の中から該当するものをひとつお選びください。

- 1 国際財務報告基準(IFRS)の採用が決定されている
- 2 国際財務報告基準(IFRS)の採用を検討中である
- 3 国際財務報告基準(IFRS)を採用する予定はない

次へ

0 50 100(%)

※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

0 50 100(%)

SQ9 回答者条件 SQ1_1 = null
- カテゴリ 1.ご所属(役職)
必須設定 無回答可
入力文字数 100文字まで

SQ9
差し支えなければ、ご回答者様のご所属(役職)を教えてください。

ご所属(役職)

次へ

0 50 100(%)

※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

0 50 100(%)

のれんの会計処理(「減損処理のみ(非償却)」と「規則的償却+減損処理」)について貴社のご意見をお尋ねいたします。

Q1 必須設定 回答必須

Q1

のれんについて画一的な会計処理方法が求められる場合に、貴社にとってより望ましい会計処理は「減損処理のみ(非償却)」ですか、それとも「規則的償却+減損処理」ですか。以下の選択肢から該当するものをひとつだけお選びください。

- 1 減損処理のみ(非償却)
- 2 規則的償却+減損処理
- 3 どちらでも構わない

次へ

0 50 100(%)

※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

0 50 100(%)

前問Q1で「減損処理のみ(非償却)」を選択した方にお尋ねいたします。

Group	回答者条件	Q1 = 「1. 減損処理のみ(非償却)」
Q1_1_1	必須設定	回答必須
Q1_1_2	必須設定	回答必須
Q1_1_3	必須設定	回答必須
Q1_1_4	必須設定	回答必須
Q1_1_5	必須設定	回答必須
Q1_1_6	必須設定	回答必須
Q1_1_7	必須設定	回答必須

Q1_1

以下に挙げた理由は、貴社にとって減損処理のみ(非償却)の方が望ましいと考える理由としてどれほどあてはまっていますか。
それぞれについて該当するものをひとつずつお選びください。(それぞれひとつずつ)

		あてはまる	どちらかというにあてはまる	どちらかというにあてはまらない	あてはまらない	わからない
	右の選択肢からお選びください					
1	のれんに関して耐用年数や減価のパターンを予測するのは困難だから	1 ☐	2 ☐	3 ☐	4 ☐	5 ☐
2	のれんの価値はその後の企業努力によって維持されるから	1 ☐	2 ☐	3 ☐	4 ☐	5 ☐
3	のれんの償却費や償却後ののれん残高は、財務諸表利用者にとって有用ではないから	1 ☐	2 ☐	3 ☐	4 ☐	5 ☐
4	適切な減損テストが行われれば、規則的償却の必要性はなくなるから	1 ☐	2 ☐	3 ☐	4 ☐	5 ☐

5	のれんの償却費の分だけ利益が小さくなってしまふから	1 ☐	2 ☐	3 ☐	4 ☐	5 ☐
6	のれんを償却しなくてよい他の企業との競争で不利な要因となるから	1 ☐	2 ☐	3 ☐	4 ☐	5 ☐
7	規則的償却を認めると減損損失がもつシグナリング効果を低減させるから	1 ☐	2 ☐	3 ☐	4 ☐	5 ☐

Q1_2 **回答者条件** Q1 = 「1. 減損処理のみ(非償却)」

- カテゴリ 1.FA

必須設定 無回答可

入力文字数 400文字まで

Q1_2

Q1_1に挙げられた理由以外に、減損処理のみ(非償却)の方が望ましい理由があれば以下の回答欄にご記入ください。

次へ

0

50

100(%)

※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

0 50 100(%)

前問Q1で「規則的償却+減損処理」を選択した方にお尋ねします。

- Group** **回答者条件** Q1 = 「2. 規則的償却+減損処理」
- Q1_3_1** **必須設定** 回答必須
- Q1_3_2** **必須設定** 回答必須
- Q1_3_3** **必須設定** 回答必須
- Q1_3_4** **必須設定** 回答必須
- Q1_3_5** **必須設定** 回答必須
- Q1_3_6** **必須設定** 回答必須
- Q1_3_7** **必須設定** 回答必須

Q1_3
 以下に挙げた理由は、貴社にとって規則的償却+減損処理が望ましいと考える理由としてどれほどあてはまっていますか。
 それぞれについて該当するものをひとつずつお選びください。(それぞれひとつずつ)

		あてはまる	どちらかというにあてはまる	どちらかというにあてはまらない	あてはまらない	わからない
	右の選択肢からお選びください					
1	のれんが表す超過収益力は市場競争によって徐々に減価するから	1 ☐	2 ☐	3 ☐	4 ☐	5 ☐
2	適切な期間配分によって収益と対応させるため	1 ☐	2 ☐	3 ☐	4 ☐	5 ☐
3	のれんの中で減価しない部分と減価していく部分は区別できないから	1 ☐	2 ☐	3 ☐	4 ☐	5 ☐
4	他の償却性資産の会計処理と整合的な会計処理だから	1 ☐	2 ☐	3 ☐	4 ☐	5 ☐

5	規則的償却は減損処理によって代替できないから	1 ☐	2 ☐	3 ☐	4 ☐	5 ☐
6	より慎重な合併・買収(M&A)の意思決定が促されるため	1 ☐	2 ☐	3 ☐	4 ☐	5 ☐
7	減損処理のコストが軽減されるため	1 ☐	2 ☐	3 ☐	4 ☐	5 ☐

Q1_4 **回答者条件** Q1 = 「2. 規則的償却+減損処理」

- カテゴリ 1.FA

必須設定 無回答可

入力文字数 400文字まで

Q1_4
 Q1_3に挙げられた理由以外に、規則的償却+減損処理の方が望ましい理由があれば以下の回答欄にご記入ください。

次へ

0 50 100(%)

※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

0 50 100(%)

- Group** 回答者条件 Q1 = 「2. 規則的償却+減損処理」
- Q1_5_1** 必須設定 回答必須
- Q1_5_2** 必須設定 回答必須
- Q1_5_3** 必須設定 回答必須
- Q1_5_4** 必須設定 回答必須
- Q1_5_5** 必須設定 回答必須

Q1_5
 のれんの償却期間を決定するにあたり,以下に挙げた要因はどれほど重要だと思われますか。
 各要因について該当するものをひとつずつお選びください。(それぞれひとつずつ)
 (注意)なお,現在,のれんを計上していない場合や米国基準やIFRSを採用している場合には,のれんの規則的償却を行うとした場合を想定してご回答ください。

右の選択肢からお選びください		あてはまる	どちらかというにあてはまる	どちらかというにあてはまらない	あてはまらない	わからない
1	経営者の計画にもとづく投資の回収可能期間	1 ○	2 ○	3 ○	4 ○	5 ○
2	シナジーが持続すると見込まれる期間	1 ○	2 ○	3 ○	4 ○	5 ○
3	被取得企業が単独でより高い将来キャッシュフローを維持すると見込まれる期間	1 ○	2 ○	3 ○	4 ○	5 ○
4	関連する有形固定資産の耐用年数	1 ○	2 ○	3 ○	4 ○	5 ○
5	関連する他の無形固定資産の耐用年数	1 ○	2 ○	3 ○	4 ○	5 ○

Q1_6 **回答者条件** Q1 = 「2. 規則的償却+減損処理」

- カテゴリ 1.FA

必須設定 無回答可

入力文字数 400文字まで

Q1_6

のれんの償却期間を決定するにあたり、Q1_5で挙げられているもの以外に重要だと考えられる要因があれば以下の回答欄にご記入ください。

次へ

0

50

100(%)

※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

0 50 100(%)

Q1_7

必須設定 回答必須

回答者条件 Q1 = 「2. 規則的償却+減損処理」

Q1_7

のれんの会計処理として規則的償却が望ましいとした場合、のれんの償却期間に関する規定をどのように定めるべきだと思われますか。
貴社にとってもっとも望ましい回答をひとつお選びください。

- 1 償却期間の上限を設けるべき
(例:「〇〇年以内で償却」という規定とすべき)
- 2 画一的な償却期間を設けるべき
(例:「〇〇年で償却」という規定とすべき)
- 3 償却期間に関する規定を設けるべきではない

次へ

0 50 100(%)

※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

0 50 100(%)

Q1_7で「償却期間の上限を設けるべき」とご回答された方にお尋ねいたします。

Q1_8

必須設定 回答必須

回答者条件 Q1_7 = 「1. 償却期間の上限を設けるべき(例:「〇〇年以内で償却」という規定とすべき)」

- カテゴリ 5. その他

- カテゴリ 5. その他 の詳細入力 1

必須設定 回答必須

入力文字数 2文字まで

回答制御 回答が半角数字 に該当しない場合はアラートを表示

回答制御 Q1_8_SNT5_1 ≠ 20, 15, 10, 5 に該当しない場合はアラートを表示

回答制御 Q1_8_SNT5_1 >= 1 かつ Q1_8_SNT5_1 <= 99 に該当しない場合はアラートを表示

Q1_8

償却期間の上限は何年とすべきだと思われますか。

該当するものをひとつお選びください。

なお、「その他」を選ばれた方のみ、回答欄に具体的に年数をご記入ください。

- 1 20年
- 2 15年
- 3 10年
- 4 5年
- 5 その他 年

次へ

0 50 100(%)

※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

0 50 100(%)

Q1_7で「画一的な償却期間を設けるべき」とご回答された方にお尋ねいたします。

Q1_9

必須設定 回答必須

回答者条件 Q1_7 = 「2. 画一的な償却期間を設けるべき(例:「〇〇年で償却」という規定とすべき)」

- カテゴリ 5. その他

- カテゴリ 5. その他 の詳細入力 1

必須設定 回答必須

入力文字数 2文字まで

回答制御 回答が半角数字 に該当しない場合はアラートを表示

回答制御 Q1_9_SNT5_1 ≠ 20, 15, 10, 5 に該当しない場合はアラートを表示

回答制御 Q1_9_SNT5_1 >= 1 かつ Q1_9_SNT5_1 <= 99 に該当しない場合はアラートを表示

Q1_9

償却期間は何年とすべきだと思われますか。

該当するものをひとつお選びください。

なお、「その他」を選ばれた方のみ、回答欄に具体的に年数をご記入ください。

- 1 20年
- 2 15年
- 3 10年
- 4 5年
- 5 その他 年

次へ

0 50 100(%)

※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

0 50 100(%)

Q1_7で「償却期間の上限を設けるべき」または「画一的な償却期間を設けるべき」とご回答された方は以下の質問にもお答えください。

Q1_10

必須設定 回答必須

回答者条件 Q1_7 = 「1. 償却期間の上限を設けるべき(例:「〇〇年以内で償却」という規定とすべき)」、 「2. 画一的な償却期間を設けるべき(例:「〇〇年で償却」という規定とすべき)」

Q1_10

償却期間に関する規定について例外規定を設けるべきだと思われますか。
以下の選択肢の中から該当するものをひとつお選びください。

- 1 設けるべき
- 2 設けるべきではない

次へ

0 50 100(%)

※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

0 50 100(%)

のれんの資産としての性格についてお尋ねいたします。

Q2 必須設定 回答必須

Q2

のれんには半永久的に価値が維持される部分があると考えますか。
以下の選択肢から該当するものをひとつお選びください。

- 1 全部または大部分の価値は半永久的に維持される
- 2 半永久的に価値が維持される部分も、維持されない部分も両方存在する
- 3 半永久的に価値が維持される部分はない
- 4 わからない

次へ

0 50 100(%)

※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

0 50 100(%)

Q2で「全部または大部分の価値は半永久的に維持される」または「半永久的に価値が維持される部分も、維持されない部分も両方存在する」を選択した方はQ2_1とQ2_2にご回答ください。

- Group** **回答者条件** Q2 = 「1. 全部または大部分の価値は半永久的に維持される」, 「2. 半永久的に価値が維持される部分も、維持されない部分も両方存在する」
- Q2_1_1** **必須設定** 回答必須
- Q2_1_2** **必須設定** 回答必須
- Q2_1_3** **必須設定** 回答必須
- Q2_1_4** **必須設定** 回答必須
- Q2_1_5** **必須設定** 回答必須
- Q2_1_6** **必須設定** 回答必須

Q2_1
 以下ではのれんを構成する要素として考えられる項目が列挙されています。
 以下の項目全てについて該当するものをひとつずつお選びください。(それぞれひとつずつ)

右の選択肢からお選びください		減価する	おおむね減価する	おおむね減価しない	減価しない	わからない	のれんの構成要素ではない
1	ブランド	1 ☐	2 ☐	3 ☐	4 ☐	5 ☐	6 ☐
2	営業上のノウハウ	1 ☐	2 ☐	3 ☐	4 ☐	5 ☐	6 ☐
3	独自の技術	1 ☐	2 ☐	3 ☐	4 ☐	5 ☐	6 ☐
4	ビジネス・モデル	1 ☐	2 ☐	3 ☐	4 ☐	5 ☐	6 ☐
5	人的資源	1 ☐	2 ☐	3 ☐	4 ☐	5 ☐	6 ☐
6	立地条件	1 ☐	2 ☐	3 ☐	4 ☐	5 ☐	6 ☐

Q2_2 **回答者条件** Q2 = 「1. 全部または大部分の価値は半永久的に維持される」, 「2. 半永久的に価値が維持される部分も, 維持されない部分も両方存在する」

- カテゴリ 1.FA

必須設定 無回答可

入力文字数 400文字まで

Q2_2

Q2_1で挙げられている項目以外にのれんを構成すると考えられる要素があれば以下の回答欄にご記入ください。

次へ

0

50

100(%)

※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

0 50 100(%)

以下では、のれん取得後の会計処理として、のれんを規則的に償却すべきか、非償却とすべきかという問題について、別の可能性をふまえた上でご質問いたします。

Q3 必須設定 回答必須

Q3

のれん取得後の会計処理としては「減損処理のみ(非償却)」または「規則的償却+減損処理」のいずれか一方のみを認める以外に次のような方法も考えられます。

- ・「減損処理のみ(非償却)」または「規則的償却+減損処理」の任意選択を認める方法
- ・買収案件ごとに一定の条件(のれんが半永久的に減価しないことが立証できる場合、など)を満たしたのれんは非償却、それ以外は規則的に償却するという方法

以上の方法をふまえた上で、貴社にとってもっとも望ましい会計処理を選択肢の中からひとつだけお選びください。

- 1 減損処理のみ(非償却)
- 2 規則的償却+減損処理
- 3 「減損処理のみ(非償却)」または「規則的償却+減損処理」の任意選択
- 4 買収案件ごとに一定の条件を満たしたのれんは非償却とし、それ以外は規則的に償却

次へ

0 50 100(%)

※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

0 50 100(%)

ここからは、これまでとは異なる論点についてお尋ねいたします。

- Q4_1 必須設定 回答必須
- Q4_2 必須設定 回答必須
- Q4_3 必須設定 回答必須
- Q4_4 必須設定 回答必須
- Q4_5 必須設定 回答必須

Q4

のれん取得後の会計処理としては、「減損処理のみ(非償却)」や「規則的償却+減損処理」以外にもいくつかの方法が理論的に考えられます。

以下に挙げられたのれん取得後の会計処理方法についてご意見をおきかせください。

(それぞれひとつずつ)

		望ましい	どちらかという と望ましい	どちらかという と望ましくない	望ましくない	わからない
右の選択肢からお選びください						
以下の1から5の方法は貴社にとって『減損処理のみ(非償却)』または『規則的償却+減損処理』と比べて…						
1	減損処理なしの非償却(取得原価のまま)	1 ○	2 ○	3 ○	4 ○	5 ○
2	減損処理なしの規則的償却	1 ○	2 ○	3 ○	4 ○	5 ○
3	時価による継続的再評価(評価差額は純損益に反映)	1 ○	2 ○	3 ○	4 ○	5 ○
4	即時の一括費用計上	1 ○	2 ○	3 ○	4 ○	5 ○
5	剰余金(資本)との相殺消去	1 ○	2 ○	3 ○	4 ○	5 ○

次へ

0

50

100(%)

※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

0 50 100(%)

Q5 必須設定 回答必須

Q5

現在、のれんの減損損失が適切なタイミングで計上されていない可能性があることが問題視されています。
そこで、のれんの減損損失の計上をより適時なものとするために、のれん控除後の純資産額(=純資産額-のれん残高)について開示を求めるというアイデアも示されています。
のれん控除後の純資産額について開示を求めることは、のれんの減損損失をより適切なタイミングで計上するよう促すことになると思われますか。
以下の選択肢の中から該当するものをひとつお選びください。

- 1 減損損失をより適切なタイミングで計上するよう促す
- 2 どちらかという減損損失をより適切なタイミングで計上するよう促すことになる
- 3 どちらかという減損損失をより適切なタイミングで計上するよう促すことにはならない
- 4 減損損失をより適切なタイミングで計上するよう促すことにはならない
- 5 わからない

次へ

0 50 100(%)

※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

0 50 100(%)

Q6 必須設定 回答必須

Q6

のれんを定期的に償却するか、非償却とするかは、貴社の合併・買収(M&A)に関する意思決定に影響すると思われますか。

以下の選択肢の中から該当するものをひとつお選びください。

- 1 影響を及ぼす可能性が高い
- 2 どちらかというに影響を及ぼす可能性が高い
- 3 どちらかというに影響を及ぼす可能性は低い
- 4 影響を及ぼす可能性は低い
- 5 わからない

次へ

0 50 100(%)

※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

0 50 100(%)

Q7

- カテゴリ 1.FA

必須設定 無回答可

入力文字数 400文字まで

Q7

最後に、本調査へのご意見・ご感想があれば以下の回答欄にご記入ください。

以上です。ご協力ありがとうございました。

次へ

0 50 100(%)

※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。(それまでの回答が無効になりますのでご注意ください)

0 50 100(%)

回答確認ページ

送信

0 50 100(%)